

# 平成18年度事業計画

自 平成18年4月 1日  
至 平成19年3月31日

## 1. 事業方針

日本の"モノづくり"を支える鑄造業の体質を強化し、競争力を向上させ産業界と社会に貢献するために、以下の実現を目指して事業を推進する。

- (1) 会員間の連携強化と相互研鑽に努め、技術の向上と経営の効率化を図る。
- (2) ユーザーズ業界・他業界との交流を深め、鑄造業の経営体質を強化する。
- (3) 産学官による、技術の革新と次世代鑄物マンの育成に努める。
- (4) グローバル化する環境での競争力の維持・向上を推進する。

## 2. 会議に関する事項

- (1) 通常総会の開催  
通常総会を5月に開催する。
- (2) 理事会の開催  
理事会を5回開催し、本会運営上の基本的な事項及び重要案件を審議・検討し決議する。
- (3) 正副会長会の開催  
正副会長会を6回開催し、次の事項を検討する。  
総会及び理事会に付議する事項  
会員の叙勲及び国家褒章の受章候補者の推薦  
その他運営に重大な影響を及ぼす事項
- (4) 監事会の開催  
監事会を開催し、17年度決算等の監査を行う。

## 3. 部会に関する事項

- (1) 総務部会
  - 1) 総務部会は、本会の財務・経理及び組織・運営に関して理事会へ諮る審議事項あるいは理事会からの諮問事項について総合企画・立案、審議にあたるほか、本会の運営（他の部会に属するものを除く）に関する基本的・重要な事項について審議する。
  - 2) 総務部会を年2回、総務委員会を年4回開催する。総務委員会において、本会の会費規程の見直し及び全国を対象とする支部体制等の組織・事業運営の見直し等を行う。
- (2) 経営部会
  - 1) 会員の企業経営に役立つ事業に関して、理事会へ諮る審議事項あるいは理事会からの諮問事項について総合企画・立案、審議にあたるほか、経営部会の運営に関する基本的・重要な事項について審議する。
  - 2) 経営部会を年3回開催する。
- (3) 技術部会
  - 1) 製品開発、製造技術等に関して、理事会へ諮る審議事項あるいは理事会からの諮問事項について総合企画・立案、審議にあたるほか、技術部会の運営に関する基本的・重要な事項について審議す

る。

2) 技術部会を年2回開催する。

(4) 国際部会

1) 国際交流、海外視察・調査等に関して、理事会へ諮る審議事項あるいは理事会からの諮問事項について企画・立案・審議にあたるほか、国際部会の運営に関する基本的かつ重要な事項について審議する。

2) 国際部会を年4回開催する。

(5) 中小企業部会

1) 中小企業振興に関する事業、組合に関する事業について理事会へ諮る審議事項あるいは理事会からの諮問事項について総合企画・立案、審議にあたるほか、中小企業部会の運営に関する基本的・重要な事項について審議する。

2) 中小企業部会を年4回開催する。次の委員会と事業等を展開する。

組合理事長会

組合事務局長会

若手後継者委員会

中小企業の鑄造業ビジョン実現化委員会

現場技術研修会

青年部全国大会

#### 4. 協会設立記念事業

(1) 目的

本会設立の趣旨をユーザー業界始め広く関係者に理解願うために、協会設立記念事業としてシンポジウムを開催する。なお、本事業を実行するために、「社団法人日本鑄造協会設立記念事業実行委員会(委員長：児玉洋介副会長)」を設けて実施する。

(2) 開催日時：平成18年4月27日(木) 12:00~19:30

(3) 開催場所：ホテルニューオータニ東京

(4) 記念事業内容

1) シンポジウム「鑄物が開く新世界 日本を支えるものづくり」

(参加人数：500人)

ユーザーと強力タッグを組めるベストパートナーとしての鑄造業界の取り組みと相互共存を標榜する「素材形産業ビジョン」の主旨、「鑄造技術指針」骨子についての理解を願うために、内外の関係者による講演及びユーザー業界も交えたパネルディスカッションを行う

2) 展示会

インダストリアルゾーン(鑄造に関する最先端技術の紹介)

ハンディクラフトゾーン(全国の鑄物製品の紹介)

3) 記念パーティ(参加人数：300名)

#### 5. 大会及び講演会・講習会等の開催に関する事業

(1) 秋季(10月11~12日、札幌地区予定)に大会を開催し、経営及び技術に関する講演会、工場見学会を開催し、新技術の紹介と会員の経営力・技術向上を図る。

(2) 新年賀詞交歓会を1月に開催する

(3) 青年部全国大会を11月に開催する。

- (4) 原材料動向説明会を7月に開催する。
- (5) ISO講習会を2月に開催する
- (6) 原価研修会を主要地域で3回程度開催する。
- (8) その他講演会、各種の報告会を適宜開催する。

## 6. 鋳造業の経営改善・振興対策に関する事業

- (1) 経営対策委員会の開催
  - 1) 会員会社にとって経営上参考となる情報の提供並びに行事等の企画・立案を審議する。
  - 2) 年3回開催する。
- (2) 専門委員会(情報交換会)の開催
  - 1) バランスウエイト委員会を年2回開催する。
  - 2) 工作機械用鋳物委員会を年1回開催する。
  - 3) 精密鋳造業務委員会を年4回開催する。
  - 4) 銑鉄鋳物経営者・営業者委員会を年2回開催する。

## 7. 鋳造業に係る施策・税制等の要望・陳情に関する事業

- (1) 鋳物産業振興議員連盟との意見交換会の開催
- (2) 関係官庁への税制要望

## 8. 中小企業振興に関する事業

- (1) 組合理事長会の開催
  - 年5回開催し、情報交換会・施策税制等への提言、日本鋳物政治連盟総会等の対応を行う。
- (2) 組合事務局長会の開催
  - 年2回開催し、組合の活性化方針検討、情報交換を行う。
- (3) 若手後継者委員会の開催
  - 年4回開催し、情報交換会、全国青年部大会の企画立案・開催運営を行う。
- (4) 中小企業の鋳造業ビジョン実現化委員会
  - 経産省がまとめた素形材ビジョン作成過程で、加藤会長が素形材ビジョン策定委員会で発表した内容の実現化等について検討を行う。また、毎年鋳物議連等に要望する施策・税制事項についてまとめるなどの事業を行う。

## 9. 指導・教育・人材育成に関する事業

- (1) 人材育成委員会を開催し、「鋳造現場の中核人材育成プロジェクト」事業を推進する。
  - 1) 鋳物企業中核人材育成ナショナルプロジェクトへの参加、協力
  - 2) 中核人材育成ナショナルプロジェクト終了後(平成20年)の人材育成計画案作成
- (2) 鋳造技術・技能の伝承に関する技術研修事業を推進する。
  - 1) 現場技術の研修会計画、実施
  - 2) 現場技術の改良、普及対策及び基礎研修会を全国対象に行う。(4ヶ所/年)
- (3) 経営に関する指導教育事業
  - 1) 経営に関する研修会、セミナー及び講習会の開催
  - 2) 下請企業の取引慣行改善マニュアルの普及促進
  - 3) 鉄鋳物製造業の人材育成のための「技術教育ビデオ」及び「技術教育読本」の普及

## 10. 技術開発に関する事業

### (1) 技術開発委員会の開催

#### 1) 新製品開発・新製造技術開発テーマの企画立案

戦略的基盤技術高度化支援事業

鋳物歩留り率向上を目指して、WGを年5回開催する

ITを活用した鋳造の技術伝承とノウハウ蓄積用のソフト開発を目指して、WGを年4回開催する。

#### 2) 厚生労働省関係中央技能検定委員会委員等の推薦

#### 3) 技術賞被表彰者の選定推薦

### (2) 専門委員会（技術交流会）の開催

#### 1) 鋳型技術委員会を年6回開催する。

#### 2) 精密鋳造技術委員会を年4回開催する。

#### 3) キュボラ操業懇談会を年4回開催する。

### (3) 鋳造欠陥大百科推進事業

## 11. 標準化に関する事業

### (1) 標準化委員会を年3回開催する。

### (2) JIS、ISO規格の作成、更新

### (3) ISO取得システム推進事業、ISO認証取得に関する講習会の開催

### (4) 「鋳型造型法」の改訂見直し作業を行う。

## 12. 知的財産権の保護及び推進に関する事業

鋳造技術に関する特許情報の収集に努め、鋳造ジャーナルへの掲載等周知を図る。

## 13. 労働安全衛生及び環境保全対策に関する事業

### (1) 環境・安全対策委員会を年3回開催する。

### (2) 鋳造業の環境保全対策の推進

#### 1) リスクアセスメント事業推進

中央労働災害防止協会が鋳造業を対象に実施するリスクアセスメント事業推進に協力して、労働安全衛生マネジメントシステム及びリスクアセスメントの普及・定着促進活動を行う。

#### 2) 鋳造業のCO<sub>2</sub>削減目標の検討

CO<sub>2</sub>WGを設置して行う。

#### 3) 労働災害種別発生件数調査（アンケート）、分析と安全改善事例の情報提供

#### 4) 5S活動の研修会開催

#### 5) 安全衛生標語の募集と同賞被表彰者の選定推薦

## 14. 調査研究に関する事業

### (1) 市場調査委員会を年3回開催し、鋳造業及び鋳造関連産業等の市場動向調査及び需要予測調査を実施する。

### (2) 調査項目

#### 1) 需要予測調査

#### 2) 製品別生産量・生産金額、都道府県別生産量・生産金額、従業員数の調査と解析

- 3) 鋳物用銑鉄の需要調査
- 4) 原材料、副資材価格動向調査
- 5) 景気動向調査と定点観測調査
- 6) 倒産、転業、廃業、休業調査
- 7) 海外の鋳物製品価格等の調査
- 8) 外国人研修生の実態調査

## 15. 広報、普及啓蒙及び情報資料の提供に関する事業

### (1) 広報事業

- 1) 編集委員会を毎月開催し、月刊機関誌「鋳造ジャーナル」を発行する。協会事業の紹介、内外鋳造業界の動向、会員の意見、主張、行政の施策等の経営情報、現場での実施例を中心とした技術論文など技術情報、各種調査結果、本協会活動状況等を取りあげ、会員並びに鋳造業界の発展向上を図る。
- 2) 協会ホームページを作成し、Web ページによる協会事業の紹介、各種情報の提供、会員データベースによる会員のPR等情報発信強化を図る。
- 3) その他の広報活動
  - 調査研究事業報告書の配布
  - 新聞・雑誌等に業界PR記事の提供
  - 需要業界における各種調査研究資料の提供
  - 経済産業省等関係官庁からの公報・情報収集活動
  - その他、業界発展のための広報・情報活動

### (2) 普及啓蒙事業

- 1) 経営及び技術に関する相談業務(コンサルタント斡旋等)
- 2) 新技術開発・新製品開発に関する紹介
- 3) 小中高生の鋳物工場見学受け入れ、鋳物教室開催等

### (3) 情報の提供

- 1) 法律、制度並びに経営、技術、労働に関する情報の提供
- 2) 会員(賛助会員を含む)に関する情報の提供
- 3) 内外の関係情報の提供

## 16. 国際交流に関する事業

### (1) 国際委員会を開催し、鋳造関係の国際会議やセミナーへの参加、海外鋳造団体とのネットワーク構築、海外鋳造業の実態調査、海外視察調査団の派遣等を推進する。

- 1) 欧米業界団体との交流を行い、鋳物サミットの準備を行う。
- 2) アセアン諸国に鋳造産業視察団を派遣する。
- 3) 2007 G I F A に派遣する鋳造産業調査団の準備を行う。

### (2) 精密鋳造国際セミナーの開催

平成 19 年9月の2日間(予定) 東京・学士会館において国内外から講師を招いて「2007 / 第 5 回 JFS 国際精密鋳造セミナー」を開催するための準備を行う。

なお、同セミナーの準備を円滑に行うために「国際精密鋳造セミナー開催準備委員会 2007」を設置する。

- (3) 「会員海外工場調査一覧 2006」の発行  
会員企業の海外進出工場の内容を調査した結果をまとめ、発行する。

#### 17. 表彰に関する事業

鑄造業界の発展に貢献した、又は貢献が期待される経営手法、技術などについてこれを表彰する。

- (1) 功労賞
  - 1) 協会事業功労者の表彰(小林英三賞、滝沢賞を含む)
  - 2) 経営改善の表彰
  - 3) 秋に募集を開始し、平成19年5月総会時に表彰する。
- (2) 技術賞
  - 1) 技術賞
  - 2) 技術開発賞
  - 3) 秋に募集を開始し、平成19年5月総会時に表彰する。
- (3) 安全衛生標語賞
  - 18年6月に募集を開始し、平成18年秋に授賞作品を発表する。

#### 18. 支部に関する事業

- (1) 中部支部において次の事業を行う。
  - 1) 中部地区会員を対象に、本部と連携をとり研修会、講演会、工場見学会等を行う。
  - 2) 「新産業創造戦略2005」等に対し、専門部会として調査研究を行う。
  - 3) その他必要な事業を行う。
- (2) 協会の全国を対象とする支部体制についての検討を行う。

#### 19. 会員の催し物に対する協力及び協賛に関する事業

- (1) 経営、技術、労務関係、教育図書、文献、視聴覚教育資料の斡旋
- (2) 工場視察、見学会の斡旋
- (3) 記念行事、催し物の表彰状、感謝状の授与
- (4) 会員主催の行事、催し物等への協賛及び参加

#### 20. 関係官庁への協力

- (1) 関係官庁の主催する委員会等の委員推薦等を行う。
- (2) 厚生労働省関係中央技能検定委員会委員等の推薦

#### 21. 関係団体との交流に関する事業

- (1) 関係業界団体との交流(自動車工業会・機械業界団体等との懇談会)  
川上・川下の相互理解を深めるための交流会を行う。
- (2) 素形材関連団体連絡会・鑄団連への参加
- (3) (社)日本鑄造工学会との連携
  - 1) 精密鑄造技術委員会において、精密鑄造技術の交流会を行う。
  - 2) 「鑄造現場の中核人材育成プロジェクト」ナショナルセンター全体委員会との交流を行う。

#### 22. 会員の叙勲及び国家褒章の受章候補者の推薦に関する事業

### 23. 組織拡充強化に関する事業

- (1) 組織の拡充強化を図るため未加入の企業、組合の加入を促進する。
- (2) 本協会の目的・事業に協力いただく賛助会員の加入を促進する。

### 24. その他本協会の目的を達成するために必要な事業

- (1) 御鑄物師会の隔年開催（次回平成19年度）のための準備を行う。
- (2) 受託・補助事業  
鑄造関係で、政府、関係機関等が実施する事業については、これを積極的に受託実施する。
- (3) 以上の他、定款の目的に沿った各種事業を行う。